

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計			事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名			エイズ予防対策		事業番号	
担当部署名			健康福祉 局 保健所		011-230	
			部		感染症対策 課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	目標値	—
			無	取組	—	—	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 61 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	全堺市民 823,731人 (R3.4.1現在堺市人口 国勢調査結果より)	対象数	単位
			823,731	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市民に対してHIV/エイズの正しい知識を普及啓発することで、H I V感染のまん延を防止し、患者に対する差別や偏見をなくす。また、H I V検査・相談の機会を提供することにより、陽性者の早期発見、早期治療につなげるとともに、更なる感染の拡大を防止することを目的とする。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ○検査・相談体制 <ul style="list-style-type: none"> ・通常検査 各保健センターにて月1回実施 ・夜間検査 サンスクエア堺にて奇数月1回、6月の性感染症予防月間及び12月の世界エイズデーに合わせて各1回 実施 (保健センター輪番制) ・平日即日検査 堺市保健医療センターにて偶数月1回実施 ○知識の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・性感染症予防月間および世界エイズデーに関するパネル展示等による予防啓発を実施 ・啓発の一部は、大阪府及び保健所設置9市 (大阪市・高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市・八尾市・寝屋川市・吹田市・堺市) で組織されるエイズ予防週間実行委員会にて共同実施 		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	エイズ予防週間実行委員会		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績		目標	目標
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度
11 「いきなりエイズ」の報告件数	人	目標値	0	0	0	0
		実績値	3	1		
		達成率	-	-		
当該指標を選定した理由		HIV感染が判明した時点でエイズを発症している状態 (いわゆる「いきなりエイズ」) は、感染機会があつてから長く検査を受ける機会がなかったことを指すため、当該件数の減少が早期発見・早期治療できているかの指標として設定。				
目標値の設定根拠・算出方法		全ての症例について早期発見・早期治療を目指すため、「いきなりエイズ」ゼロを目標とした。				
12 HIV抗体検査受検者数	人	実績	実績		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		目標値	989	800	750	
		実績値	598	695		
	達成率	60%	87%			
当該指標を選定した理由		陽性者の早期発見・早期治療のためには、検査・相談の機会確保が重要であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績を参考に目標値に設定。				

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	エイズ予防対策	事業番号	011-230
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	3,423	1,806	3,234	1,992	2,811
13 財源内訳					
国支出金	1,320	723	1,414	784	1,203
府支出金					0
市債					0
その他 ()					0
受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	2,103	1,083	1,820	1,208	1,608
14 人件費 (b)	8,100	8,200	8,200	0	0
15 年間経費(c)=(a)+(b)	11,523	10,006	11,434	1,992	2,811

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
	R3	決算	事業費	うち一般財源			R3	決算	事業費	うち一般財源	
16 事業費内訳	検査用試薬・医療材料等消耗品費	R3 決算	1,458	840	検査手数料	R3 決算	72	66			
		R4 予算	1,350	675		R4 予算	90	86			
	大阪府エイズ予防週間実施負担金	R3 決算	112	56	研修会等参加負担金	R3 決算	0	0			
		R4 予算	112	56		R4 予算	50	25			
	医師報酬	R3 決算	84	51	研修会等参加旅費	R3 決算	0	0			
		R4 予算	415	207		R4 予算	15	8			
	HIV検査会場借り上げ料	R3 決算	51	26	即日HIV抗体検査及び相談業務	R3 決算	0	0			
		R4 予算	74	37		R4 予算	428	375			
	HIV/エイズポスター等郵送料	R3 決算	30	15	その他 (使用料及び賃借料、謝礼金、負担金等)	R3 決算	185	154			
		R4 予算	41	21		R4 予算	236	118			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
	① 通常検査・即日検査・夜間検査実施回数	回	89
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,533	1,517
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	17,225	15,020
備考 (算出についての説明等)	②は検査実施にかかる消耗品費や会場借り上げ料等の合計		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>緊急事態宣言の影響により会場都合での検査休止が2回あったものの、検査回数をコロナ禍以前とほぼ同等に確保できたことで、受検者数も元の水準に戻りつつある。</p> <p>費用対効果についてもおおむね横ばいとなっている。</p>
----	--

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、特に感染拡大期において保健所業務は著しくひびつしたが、会場都合の休止を除き、当初の予定どおり検査機会を確保した。</p> <p>また、患者に対する差別や偏見の解消を目的として、検査時の相談や、6月の性感染症予防月間、12月の世界エイズデーに合わせた啓発などで、HIV/エイズに対する正しい知識の普及を進めた。</p>
----	--